

# ドナー通信+ donor

No.54 2008.6.1発行

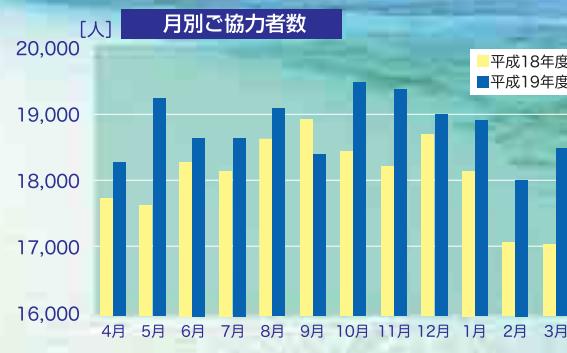
暑く眩しい夏、血液不足が心配です

## 「愛の血液助け合い運動」 キャンペーン



輸血用血液が不足する夏  
献血にご協力ををお願いいたします。

長い梅雨が終わると季節は夏。家族や友人同士、夏休みの楽しいプランを計画されていることでしょう。一方、残念なことに夏の季節は献血にご協力いただく方が減少します。日本赤十字社では、7月1日から31日までの一ヶ月間、「愛の血液助け合い運動」を行い、皆さんに献血のご協力をお願いしてまいります。千葉県においても、赤十字血液センターと千葉県がタイアップし、昭和40年から続けてきました。血液センターでは、患者さんへの輸血に当たって、より副作用の低下が見込まれる400mL献血の推進に重点的に取り組みます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



[編集発行]

千葉県赤十字血液センター  
〒274-0053 船橋市豊富町690  
Tel 047-457-0711  
千葉県千葉港赤十字血液センター  
〒260-8507 千葉市中央区千葉港4-1  
Tel 043-241-8331

## CONTENTS No.54

- 2 お便りとメッセージのコーナー／  
漢字クロスワードパズル

3 ■知れば納得！ 血液のはなし

- 半世紀以上の激動の歴史  
日本赤十字社の血液事業、その黎明期  
をご存知ですか



- 4 ○アロマの香りに誘われました  
(癒しの火曜・木曜日献血キャンペーン  
献血ルームフェイス)

- 特集報告  
○オープンから1周年、ますます  
元気なPure  
(サービスに工夫を凝らし、皆さまを  
お待ちしています) 松戸献血ルームPure



- 5 ■募集企画!!  
●キッズ献血探検隊2008隊員を募集します



平成19年度献血実績を  
ご報告します

(延べ22万5千人の皆さま  
ありがとうございました)

- 6 ○お知らせ  
400mL複数回献血チャレンジ  
キャンペーンにご参加ください  
次回成分献血の予約を承ります

登場オリジナル  
RED CROSS  
G-SHOCK(腕時計)



県内献血会場のご案内

(献血ルーム及び献血スケジュール)  
献血にご協力いただける事業所・団体・グループ  
を募集しています

### 「"助け合う"という言葉 信じています」

19回献血協力しています。

私がまだ2歳の頃、親の目の届かぬところで、あろうことか給油ポンプを使って灯油をガブガブ飲んだことがありました。

車を運転できぬ母が近所の女性に助けを求め、急いで医師のもとへ連れていかれた私は、奇跡的に助かりました。

母の話によると、この方は挨拶する程度の近くづきあいであったと聞きました。

今年4月で社会人3年目になります。

私の命を救ってくれた女性がいななかったら、私は人生の3年目を歩むことなくこの世を去っていたことでしょう。

献血した血液がどのような方に役立たれいるのか、直接見たことはありませんが、過去に命を助けていたいた私にとって、救われっぱなしの状態で人生を終えることがあってはならないと思い、自分の力を必要としている人の思いに応えることを心がけています。

「助け合う」という言葉は、もう古いのでしょうか。

そんなことはない、と私は信じています。

江戸川区 Y・Sさん

### 「きっかけは妹のための献血」

今回50回目の献血を実施しました。

献血のきっかけは、約50年前妹が心臓病でいつ輸血が必要になるかわからず、献血をしておけば優先的に輸血が(出来るのでは)受けられるのではと思い始めました。

その後その必要がなくなりましたが、年1回は献血してきました。

今後も70回を目指し献血を続けたいと思っています。

(注)昭和55年1月に優先制度は廃止されています。

浦安市 K・Oさん

答え



1	2		3	4	5	6
7		8		9		ジ
		10	11	ゴ		
12	13	ラ			14	
			15		ウ	
16	ト	17		18	19	
20				21		

前号の答えは、「湯治場」でした。  
たくさんのご応募ありがとうございました。

# お便りと

## メッセージの

### コーナー

DONOR 2008.06 No.54

心のこもった  
お便りとメッセージを  
ありがとうございます。



### 「おじの意志が私のエネルギー」

昨年献血70回に到達し、まだまだこれからと通っています。

私が献血を始めたきっかけは、おじの勧め。

「体調管理に気をつけるようになるから」と学生の頃勧められました。

そのおじは、血液の病気を患い亡くなってしまったのですが、おじの意志を継いでこれからも続けていければと思っています。

2人の子供が参加できるまであと14年。

3人で通えればいいなと思っています。

(その時私は41歳。まだまだ頑張れます!)

習志野市 S・Tさん

### 「献血の卒業式」

献血との出会いは、勤務先での企業献血でした。

40年も前の事になります。当時は献血箇所が少なく、街頭の献血バスが唯一の献血場所でした。

最初は100回を目標にしましたが、その後400ml献血が可能になり、更には成分献血も開始され、目標値も200回、300回と増やし現在331回になりました。

今年の9月で70歳を迎え献血の卒業式になります。

10年前から子供も献血を始めて、私の後を継いでくれるようになりました。

「子は親の背中を見て育つ」と云いますが確かにそのとおりだなと、改めて思いました。

今は献血によって、自分の健康管理ができる事に感謝しています。

今後もより多くの方々が献血される事を願っております。

市川市 T・Eさん

### 「血液の循環を止めないで」

初めて献血しました。献血前は色々不安でしたが、終わってみればあっという間でした。

自分の血液が循環して誰かのために役立てられる。

献血によって生命がつながっていく。

ドナー通信を読み、様々な年齢・職業の方々が協力していることを知り、私も健康である限り血液の循環を止めることのないよう献血に協力

(松戸市 S・Mさん)

●このコーナーでは、献血にまつわる想い出、感想、ご意見や実際に輸血を受けられた方々、そのご家族、輸血医療に携わる医療関係の方々からのお便りをお待ちしています。

●お便りは、次号以降のドナー通信紙面や当センターのホームページなどで、市町村名とイニシャルを使い紹介させていただきます。

●ご紹介させていただいた方には、記念品を進呈いたします。

●あて先▶ドナー通信係 千葉県千葉港赤十字血液センター内 ☎260-8507 千葉市中央区千葉港4-1

# 漢字クロスワードパズル

このクロスワードパズルは、どこか三ヵ所だけ漢字が入ります。その場所は文字数やタテ・ヨコの関係から推理して下さい。その他のマスはすべてカタカナです。最後にその漢字三文字を並べて、答えのことばを作ってください。

#### □ヨコのカギ

- ①—— 奢侈の活躍を期待します。  
③谷崎潤一郎の名作で、大阪生まれの四人姉妹が主役です。  
⑦引く手—— の売れっ子タレント。  
⑨卒業式や入学式で、校長先生が述べる戒めの言葉です。  
⑩放任とは正反対で、必要以上に子どもの面倒をみること。  
⑫包み隠しのないこと。間違って“アカララ”なんて読むと笑われますヨ。  
⑭笑う門には—— 来たる。  
⑯フルートやトランペットは—— 楽器の代表です。  
⑯太宰治の命日のことです。  
⑰ドーム球場に敷いてある人工——。  
⑲物事を念入りに調べること。  
⑳手首の血管に指をあてて測ることです。

#### □タテのカギ

- ①チルチルミチルと一緒にさがしにいきましょう。  
②取り付く—— がない返事。  
④英訳すると“トライアル・アンド・エラー”となる試行——。  
⑤——と向かっては言いにくいこともあります。  
⑥試合などで、前に負けた相手に勝つこと。  
⑧——の持ち腐れとは、才能を生かしきれないこと。  
⑪大袈裟なことを言う人。  
⑬チャップリン、ロイドと共に“世界の三大喜劇王”と呼ばれます。  
⑭チヨーリップと共に、オランダから連想されるものです。  
⑮花は——人は武士。  
⑯「春の—— 終日のたりのたりかな」(与謝蕪村)  
⑰中国では、人の悪夢を食べてくれると言われる動物です。

「答え」と「住所・氏名、ドナー通信への感想」などをハガキにご記入の上、係あてに郵送して下さい。抽選で20名様に素敵な記念品をプレゼントいたします。当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

●締 切▶平成20年8月29日(金) 当日消印有効

●応募先▶漢字クロスワードパズル係 千葉県千葉港赤十字血液センター内 ☎260-8507 千葉市中央区千葉港4-1

# 知れば納得！血液のはなし

## 半世紀以上の激動の歴史

日本赤十字社の血液事業、その黎明期をご存知ですか



### (端緒)

昭和23年、東京大学付属病院(産婦人科)でかねて憂慮されていた梅毒感染輸血事故が発生し、大きな社会問題となりました。

この頃の輸血では、その大半が必要とする人の家族の血液や、売血による血液が使用され、十分な検査をせず生血のまま輸血することが普通であったということです。

当時の日本は、連合国軍の占領下にあったため、GHQ(連合国軍総司令部)は、日本政府に対し輸血用血液の安全対策を講じるよう命令を出すことになりました。政府は、直ちに専門家を集め意見取りまとめの作業に着手しました。

### (国際社会の動き)

この頃、赤十字国際会議の決議を受け、各国の赤十字社が血液事業を行うことが勧奨されていましたので、日本政府も他国の例をみて日本赤十字社に血液事業を委任することにしました。これをきっかけに、日本の血液事業の動きが芽生えてきたことになります。

### (日本赤十字社の関わり)

血液事業の先発国であった米国赤十字社の援助・協力を受け、昭和27年4月10日、日本赤十字社は、日本で最初の「日本赤十字社血液銀行東京業務所」(本社中央病院内)を開設し、保存血液の製造業務を開始しました。翌28年には、全国各県への「血液銀行」設置の動きが起り、全国への整備計画が進められました。

当時、血液銀行の運営費には、お年玉年賀葉書の寄付金があてられ、善意の献血による血液を無料で供給するシステムは、血液銀行のモデルケースとして注目されました。

日赤初の  
血液銀行  
です。



▲設立された血液銀行

### (買血と血液事業)

お年玉年賀葉書の寄付金補助がなくなった29年から運営が厳しくなりました。

32年には、保存血液が薬品に含まれるなど血液が薬品として扱われ、財政基盤が確立したように見えましたが、これが社会一般に「健康保険で輸

血が受けられる」という考えが広まることとなり、「善意の献血」が激減する事態となりました。

「善意の献血」と併せて、一部「買血」によって保存血液を確保するという苦しい時期がありました。

昭和36年以降は、民間商業血液銀行による買血が輸血用血液のほとんどを占める事態となりました。



▲売血者を募集する宣伝

### (買血と黄色い血)

売血者が主として生活困窮者や特定の人々であった実情から、売血者の健康状態も劣悪であり、「黄色い血」と呼ばれた売血血液による輸血は、梅毒感染や血清肝炎が多発するなど、大きな社会問題となりました。

#### 「黄色い血」とは？

頻繁に売血する人の血液は、球形部分が少なく黄色い血漿が目立つことからこのように呼ばれ、当時の「流行語」となりました。

### (血液事業正常化への取り組み)

日本赤十字社は、青年赤十字ボランティアと共に「買血」中止を呼び掛ける「黄色い血追放キャンペーン」を実施するなど、血液事業の正常化に取り組むとともに、「日本赤十字愛の献血運動」によって「善意の献血」への協力を呼び掛け、献血の普及に努めました。



### (100パーセント献血による血液事業へ)

これらの運動が盛り上がる昭和39年3月、暴漢による刺傷事件で輸血を受けたライシャワー駐日米大使が、輸血後肝炎を発症するなどの事態が発生し、世論は「買血」追放と「善意の献血」による

輸血用血液を確保するという方向に盛り上がりました。

この気運の中、昭和39年8月21日、政府は国の輸血用血液は「献血」によって確保し、「管理」する方針を示す閣議決定を行い、「献血」は「国と地方公共団体と日本赤十字社」の三者が一体となって推進することが宣言されました。

閣議決定後の昭和44年には、民間商業血液銀行は買血による輸血用血液の供給を中止するなど、現在の献血100パーセントによる輸血用血液確保体制が確立することになりました。



▲保存血液(ガラス瓶)



▲献血風景 (採血瓶はガラス製)

輸血用血液の安定した確保、安全性の確保を目指す現在の血液事業は、苦難に満ちた歴史を経て、多くの善意に支えられてきました。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### (参考書籍)

「人道・博愛一百年のあゆみ」

日本赤十字社千葉県支部発行

「千葉県赤十字血液センター30年史」

千葉県赤十字血液センター発行

「愛のかたち献血」

日本赤十字社発行



# Report No.54

## 01 報告



### アロマの香りに 誘われました

癒しの火曜・木曜日献血キャンペーンを行いました



1.好みの香りを選びます



2.バスオイルとしてブレンドします

毎年、春先は、花粉症や風邪などによる体調不良が原因で献血への協力が減少する傾向にあります。

献血ルームフェイス(船橋市)では、3月の火曜・木曜日、「癒しの献血キャンペーン」を行いました。

ベリーナチュラルセラピースクール(千葉市)のご協力を受け、アロマの専門家が献血された方の希望者にアドバイスをして、エッセンシャルオイルを調合(ブレンド)しお持ち帰りいただ

きました。

6種類ほどの香りの中から好みの香りを選ぶ楽しみ、帰宅後の入浴で使う楽しみをご提供し、多くの方々に好評をいただきました。

献血ルームフェイスでは、今後も皆さんに喜ばれるキャンペーンを計画しています。引き続き、皆さまのお越しを心からお待ちしています。

昨年4月1日にオープンした松戸献血ルーム *Pure*(梅澤秀夫所長)は、この4月でオープン1周年を迎えました。

「女性に優しい献血ルーム」をコンセプトに、松戸市近隣をはじめとする皆さんに親しまれ、オープンからの1年間で、延べ14,677人の方々に献血のご協力をいただきました。

本紙面では、様々なキャンペーンの紹介を通じて、献血者の皆さんに工夫を凝らしたサービスのご提供に努める *Pure* の取り組みについて報告いたします。

#### ●女性への優しさを形に

##### ハンドトリートメントサービス

昨年12月、同じ常磐線沿線にある柏献血ルームと合同でウィークリーキャンペーン行いました。癒しのハンドトリートメントが大好評でした。



ネイルカラーリングでニッコリ♪



アロマオイルの香りと癒しの施術

#### ●ネイルケア・ネイルカラーリング+アート

今年の4月、オープンからの1周年を記念して、「*Pure* な火曜日」キャンペーンを行いました。N-MEネイルアカデミー(市川市)にご協力いただき、2人のネイリストによるケア・カラーリングなどのサービスをご提供し、ご好評をいただきました。

##### 指先に*Pure* な美しさを



献血キャラクター けんけつちゃんも登場

#### ●母の日はカーネーションを

今年の5月11日(母の日)、献血できる健康体に育てていただいたお母さんへの感謝の気持ちを表し、献血ルームからささやかなカーネーションの花をプレゼントさせていただきました。



#### ●手作りけんけつちゃんアンパンでランチを

今年の5月下旬から6月上旬、献血キャラクターをパンに焼き上げる全国初のサービスを行いました。

皆さんに可愛がられています「けんけつちゃん」(愛の妖精)が手作りアンパンに大変身。

パン教室講師 西谷美知代さんの協力で焼き上げられたアンパンは、小麦粉やバターなどの材料を厳選したこだわりの手作りです。

皆さんには、献血後のひととき、*Pure* のロビーでランチを楽しんでいただきました。



パンを手に  
素敵なお夫婦

たくさんのイベントを開催いたしました。



# 募集企画!!

## 夏休みの宿題に最適!!

### キッズ献血探検隊2008(小学生献血学習会)隊員を募集します

血液センターでは、小学4年生以上のお子さんを対象とした献血学習バスターを計画しています。

今回は、血液のことを学習し、献血された血液のゆくえを追って、千葉県こども病院を見学します。一緒に探検してみませんか。

隊員証を胸に2007探検隊の皆さん  
(東京都赤十字血液センター)



血液運搬緊急車両の乗車体験  
(昨年の開催から)

■主催  
■後援  
■開催日時

千葉県赤十字血液センター  
千葉県教育委員会  
平成20年8月27日(水) 9:00~16:00  
(移動・休憩時間含む)

■会場

(1)千葉県赤十字血液センター  
船橋市豊富町690 Tel.047-457-0711(代表)  
(2)千葉県こども病院  
千葉市緑区辻田町579-1  
千葉県千葉港赤十字血液センター  
千葉市中央区千葉港4-1  
Tel.043-241-8331(代表)

■集合場所

千葉県内にお住まいの小学校4学年以上のお子さんと保護者  
※申し込みは、保護者同伴とします。  
応募多数の場合抽選で50人の方(お子さん及び保護者を含みます。)

■参加資格

千葉県内にお住まいの小学校4学年以上のお子さんと保護者

■参加人数

※申し込みは、保護者同伴とします。

■参加費

応募多数の場合抽選で50人の方(お子さん及び保護者を含みます。)

■持参品

無 料

■申込〆切

筆記具・記録に必要なもの ●お弁当・お飲物

■申込方法

平成20年7月21日(月)当日消印有効

(往復ハガキ)

往復ハガキに次の事項を記入の上お申込みください。

表面 あて先 〒260-8507 千葉市中央区千葉港4-1  
千葉県千葉港赤十字血液センター内 キッズ献血探検隊2008係

裏面 ①郵便番号 住所

②保護者氏名

③児童氏名・年齢・学年・性別

④自宅電話番号・携帯電話番号

(返信ハガキ)

表面 申込者の住所氏名をご記入ください。

裏面 当選された場合、参加に必要なご案内を記載し返送させていただきます。

■お問い合わせ先

キッズ献血探検隊2008係 Tel.043-241-8567

(土・日・祝祭日を除く平日 9:00~17:00)

## 延べ22万5千人の皆さまありがとうございました。 平成19年度献血実績をご報告します。

冬場の2月、3月には、献血にご協力いただける方が減少しましたが、延べ225,726人(対前年8,536人の増加)の皆さまにご協力をいただきました。

皆さまにご協力いただいた血液は、患者さんが安心して輸血医療を受けられるように適正な検査、品質管理のもと、県内の医療機関にお届けいたしました。

血液センターでは、平成20年度も県内で必要とする血液は県内で確保していくことを目標に、次の2つの課題に取り組んでまいります。引き続きご協力をお願いいたします。

あともう  
1回の  
献血協力を

ご都合がつけば、現在1回のご協力をいただいている方に、年2回以上の献血ご協力ををお願いいたします。

6月1日から400mL複数回献血チャレンジキャンペーンを行っています。皆さまのご協力をお待ちしています。(第6面にて紹介)



ご協力  
ありがとうございます

### 複数回の献血者数

年2回以上の複数回ご協力が大きな支えとなりました。



## 患者さんの安全を優先する400mL献血のご協力を

1人ひとり微妙に異なる血液は、たとえ同じ血液型輸血をしても副作用発生の恐れがあるため、できる限り少人数の血液で輸血することが理想です。

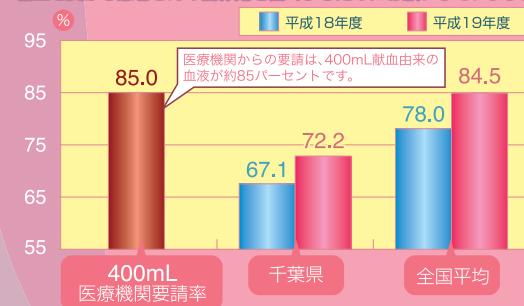
### 800mLの輸血例



輸血を受ける方の副作用(発熱や発疹等)をより低く抑えるために、400mL献血を一層推進し、医療機関の要請に応えてまいります。

### 400mLの献血率

輸血を受ける患者さんの副作用を低くするためにお願いしています。



# お知らせ

## 1 400mL複数回献血チャレンジ キャンペーンにご参加ください。

400mL献血にご協力いただいた方に、しばらく期間をおいてもう一度チャレンジしていただく、複数回献血チャレンジキャンペーンを実施しています。

献血バスを含む県内の献血会場で400mL献血にご協力いただくごとに、スタンプ1個を押印いたします。

キャンペーン期間中にスタンプが2個以上になりますとその場で、オリジナル ナースキティエコバッグをプレゼント。

皆さまのチャレンジをお待ちしています。



※内ポケットにバッグ自体を折り畳んで収納できます。

## キャンペーン期間

平成20年6月1日～平成21年5月31日

## エントリーカード▶

期間中、400mL献血にご協力  
いただいた方にお渡します。



## 3 次回成分献血の予約を承ります。 お気軽に受付スタッフにお声かけください。

6月1日から、各献血ルームでの成分献血予約受付(平日)をはじめました。

特に、成分献血から造られる血小板製剤は、保存できる期間が4日間と短かい上に医療機関からの供給要請が増加しています。

土曜、日曜に多くの皆さんにご協力いただいているが、週半ばは不足傾向にあり、1週間を通じた安定的な成分献血のご協力を必要としています。

各献血ルームでは、平日にて予約いただける方の採血ベッドをご用意させていただき、スムーズな受け入れに努めています。



血小板数の減少や  
その機能低下による  
出血ないし出血  
傾向がある場合に  
使用されます。



精密な成分採血装置を使い、血小板や血漿といった血液の成分の一部だけを採取し、赤血球は再び体内に戻すため、体への負担が少ない安心・安全な献血方法です。  
(所要時間 採血量により40分～90分)

## ELバックライト



- 特徴 時刻合わせ不要の「電波時計」  
電池切れ無しの「太陽電池」  
ストップウオッチ・温度計・ワットメータ等多機能搭載
- オリジナル仕様  
ELバックライト(赤十字マーク表示)  
文字盤上部に赤十字ロゴ等印字

**定価:28,900円(消費税込)**



## 千葉県内献血会場のご案内



### 献血ルーム

**柏献血ルーム**  
(そごうアネックス6F)  
Tel 047-7167-8050



**松戸献血ルーム Pure**  
(松戸駅西口松戸ビル1F)  
Tel 047-703-1006



**献血ルーム フェイス**  
(船橋駅南口フェイスビル7F)  
Tel 047-460-0521



**津田沼献血ルーム**  
(津田沼ビル4F)  
Tel 047-493-0322



**モノレールちは駅献血ルーム**  
(モノレール千葉駅構内)  
Tel 043-224-0332



**運転免許センター献血ルーム**  
(千葉運転免許センター内)  
Tel 043-276-3641



献血ルーム  
受付時間

●成分受付▶10:00～12:00/14:00～17:10

●400mL(200mL)受付▶10:00～13:00/14:00～17:40

●定休日▶年末年始

運転免許センター  
献血ルーム  
受付時間

●成分受付(平日のみ)▶9:00～12:00/14:00～15:30

●400mL(200mL)受付▶9:00～13:00/14:00～16:30(日曜日は16時10分迄です。)

●定休日▶土曜日・祝日・年末年始



### 献血バス

血液センターでは、献血バスで県内各地を移動し、皆さんに献血をお願いしています。  
献血バスの予定は、当センターホームページをご覧ください。

#### ●ホームページアドレス

<http://www.chiba.bc.jrc.or.jp>

※実施会場・時間などについては、変更になる場合がございますので、ご了承願います。



(モバイル版QRコード)

◆献血にご協力いただけた事業所・団体・グループを募集しています。献血にご協力いただけた方を30～40名以上集めていただければ、ご依頼の場所へ献血バスでお伺いします。

◆お問い合わせ先

千葉県赤十字血液センター  
渉外課 Tel.043-241-8332



★ドナー通信へのご意見や、献血・血液に対する質問をお待ちしています。

お問い合わせ先

〒260-8507 千葉市中央区千葉港4-1 千葉県千葉港赤十字血液センタードナー通信係あて  
Tel.043-241-8567 FAX.043-241-8813 <http://www.chiba.bc.jrc.or.jp>